

那 須 岳

○概況（平成 17 年 10 月）

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

○地震及び微動の発生状況

火山性地震の発生回数は 1 日あたり 0～1 回と少なく、静穏に経過しました（図 1）。
火山性微動は観測されませんでした。

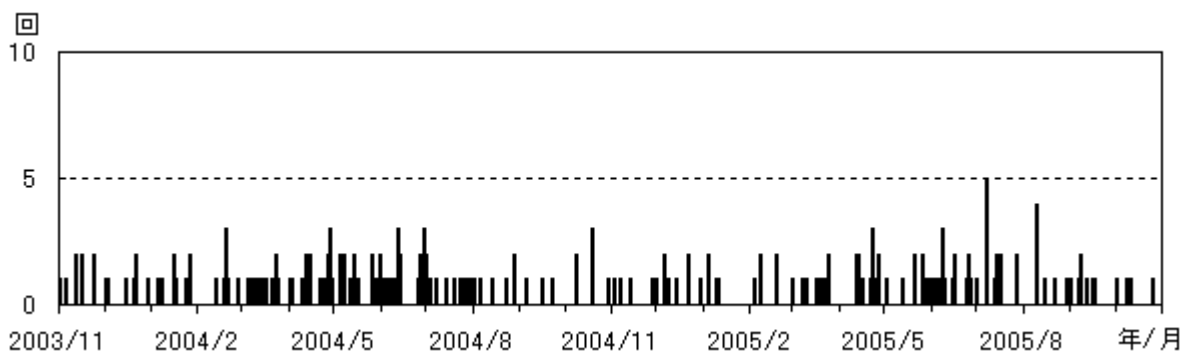


図 1 那須岳 日別地震回数（2003 年 11 月 1 日～2005 年 10 月 31 日）

○噴煙の状況

茶臼岳の噴煙の状況に大きな変化は見られず、噴煙の高さはおおむね 100m で経過しました。噴煙高度及び噴気温度は 1990 年前後まで低下傾向を示していましたが、その後は変化が見られなくなり、低いレベルを保ちながら推移しています（図 2）。

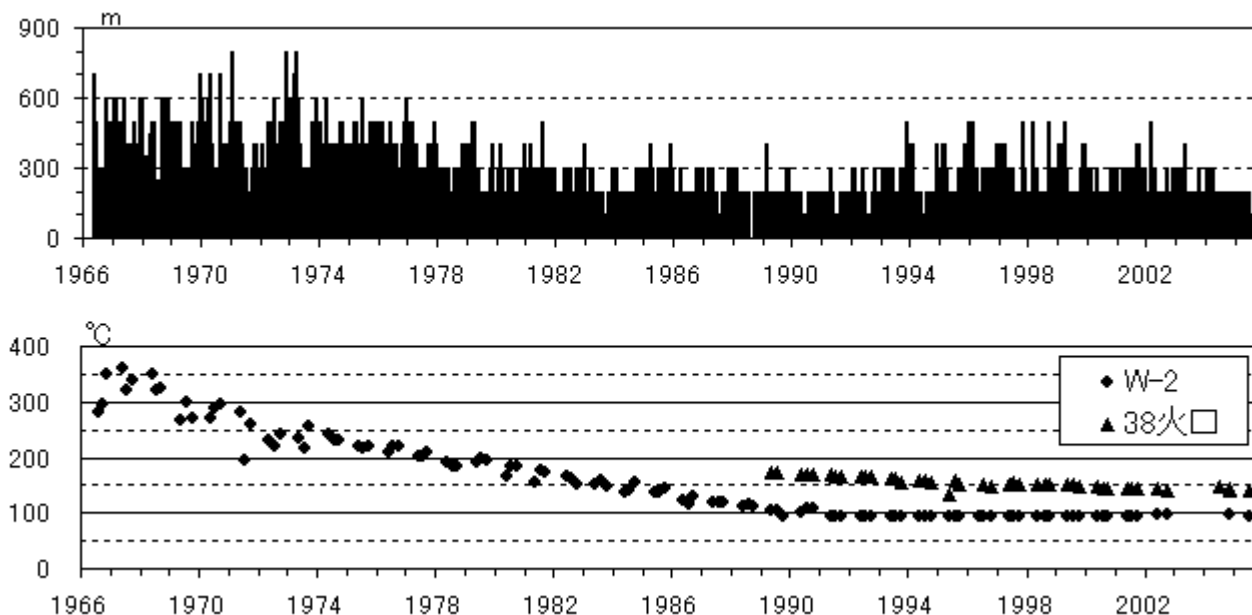


図 2 那須岳 月別最大噴煙高度（上段）と噴気温度（下段）（1966 年 1 月～2005 年 10 月）

W-2 および 38 火口はいずれも茶臼岳西側斜面にある温度観測点

※この資料は気象庁のほか、東北大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等を利用して作成しています。

○地殻変動の状況

G P S連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした (図 3)。

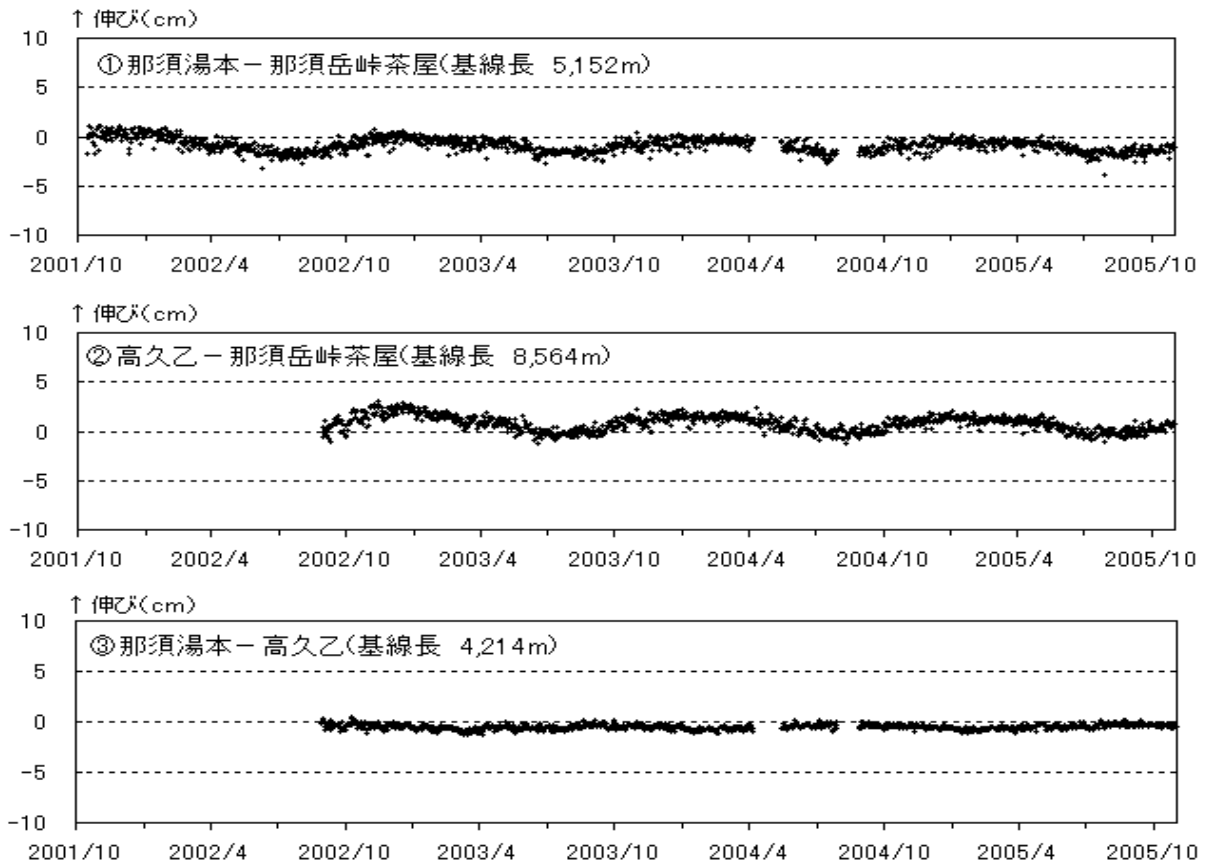


図 3 那須岳 GPS連続観測による基線長変化 (2001年10月1日~2005年10月31日)

基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変動です。

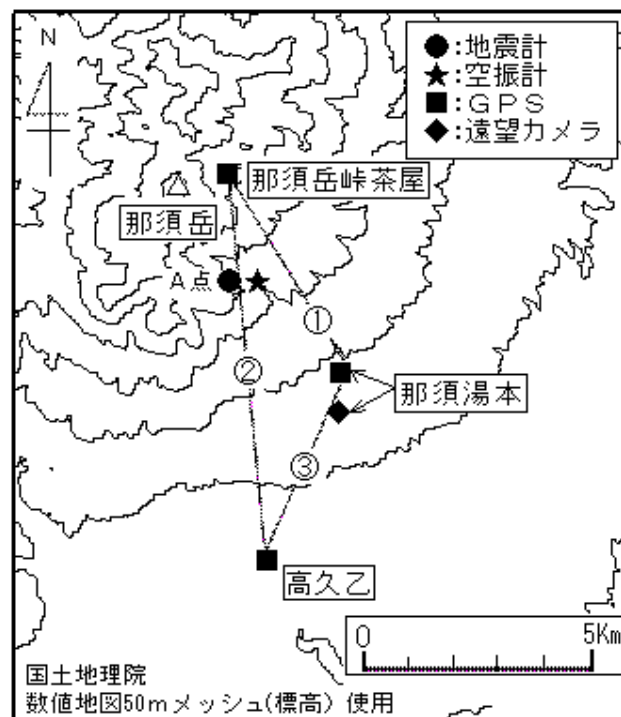


図 4 那須岳 気象庁の観測点配置図